

和田勇の功績より身近に

寺内町会館のコーナー一新

東京オリンピック(1964年)誘致に尽力した御坊の偉人・和田勇氏をもっと多くの人に知ってもらおうと、官民でつくる和田勇顕彰会(吉田擴会長)は15日、中町2丁目の御坊寺内町会館に「和田勇コーナー」をリニューアルオープンした。功績を分かりやすく伝えるパネルやビデオの視聴室、勲章など貴重な品がずらり。初日にはお披露目式が行われ、和田氏の二女、真理子・和田ロースさん(サンフランシスコ)が取り組みを喜んでいることも報告された。



リニューアルしたコーナーを見学する吉田会長と柏木市長

寺内町会館にはこれ「部屋に「和田勇資料館」でいたが、2019年オリンピック誘致に尽まで、1階奥の小さい」として遺品等を展示し放映のNHK大河ドラマ「いだてん」を東京籍、数々の勲章や感謝御礼ムック「断」に状、ロサンゼルスオリ決まったことで、和田氏ンピック(1984をドラマの中で取り上)組織委員会でアジ上げてもらう機運を盛りア唯一の委員を務めた上げようとしてユニホームも展示した。より身近に親している。これまで資しんでもらい、住民と料館として使っていた一体となった顕彰事業「部屋は功績を伝えるビデオの視聴室にした。パネルでは、御坊市お披露目式で吉田会名田町破井戸出身の父長は「寺内町会館が」と田良町戸津井出身の層魅力ある拠点になっ母の間に生まれ、助けた。和田氏の偉業を広合いの精神を学んだ幼く伝え、大河に取り上少期、戦後にロサンゼンげてもらえるよう協カルスで開催された全来している」と、柏木征水泳選手権に出場する夫御坊市長も「和田さ日本代表選手を自宅へんがいかにかに立派な人受け入れたこと、東京だったか一目で分か

る。これからの功績を「と紹介した。伝えていこう」と協力を求めた。顕彰会の岡本恒男さんは二女真理子さんとメールで連絡を取り、「展示できるコーナーができたことや、シンポジウムが開催されることを喜んでくれてい

と紹介した。